

須坂市地域公共交通会議

平成20年4月24日設置
平成21年3月23日連携計画策定



概要

現在、須坂市には須坂駅を起点とする市内バス路線が4路線と、平成13年より導入した市内循環バス1路線がある。近年マイカー利用の増大等により、バスの利用者は減少傾向にある中、運賃100円の循環バスの運行経路拡大の要望は大きくなっている。行政の負担も年々増加しており、市民生活に不可欠な移動を地域公共交通によって、どこまで確保するかの指針を設定し、地域に適した効率的な運行形態を導入し、全市的な公共交通ネットワークの再編成を図る「須坂市地域公共交通総合連携計画」により、平成21年10月より実証運行を実施しようとするものである。

〇乗合公共交通のネットワーク再編

(1)交通軸路線バージョンアップ

既存のバス路線網を一体的に再編し、路線バスでの維持・活性化を図る交通軸路線を設定し、運行を開始する。また、乗り降りしやすい「低床式車両」を導入し、誰もが安心して利用できる公共交通サービスを提供する。

(2)デマンド型交通(DRT)の導入

公共交通需要の小さい地域では、従来の路線バスに代えて、デマンド型交通を導入し運行の効率化を図る。

〇わかりやすく、使える運賃体系の整備

(1)須坂版ゾーン制運賃の導入

現在の運賃区界を改め、細かすぎない運賃制度を設定する。須坂駅から各路線への乗り継ぎの際には、乗り継ぎ券等を発行し、初乗り運賃の二重徴収を防ぐ。

(2)企画乗車券の検討

観光施設や商業施設とタイアップした企画乗車券を開発する。

〇わかりやすい公共交通情報案内の整備

(1)すざか巨大迷路バスマップ(仮称)発行

観光客、生活者がともに使える「バスマップ」を作成し、公共交通情報と地域情報を合わせて提供する。

(2)停留所名称変更・情報の充実

既存の路線ごとに異なる停留所名称を統一し、利用者にわかりやすい情報提供を図る。

〇観光客の滞在スタイルを提案する公共交通の整備

(1)交通軸路線を活用した観光交通の整備

路線バスの運行経路や時刻表を休日時に観光客の滞在スタイルに合わせた形態に設定する。

(2)地着型旅行商品(ミニツアー)と一体化させた観光交通の開発

